

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.206 2025 年 7 月 31 日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：多 忠貴

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連 令和7年度定例総会・理事会

6月18日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全専各連第74回定例総会・第141回理事会が開催された。出席者は総会が133名、理事会が57名（いずれも委任状を含む）。はじめに藤井静児副会長の開式の言葉に続き、多忠貴会長があいさつを述べた。続いて、来賓の山谷えり子参議院議員があいさつを述べ退席。その後、米原泰裕文部科学省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、「学校教育法の改正に伴う主な制度改正事項について」「政府決定文書関係（骨太の方針）」「専攻科及び適格専攻科について」「専修学校の外部の識見を有する者による評価（第三者評価）のポイント」「高等教育の修学支援新制度の学業要件」等について配布資料に沿って行政報告を行った後、退席。休憩の後、議事を再開。はじめに議長団の選任手続きに入り、常任理事会の推薦候補者である鳥居高之理事を議長、中島慎太郎理事を副議長に選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に布川耕吉、鈴木一樹両常任理事を選任し、提出議案の審議に入った。また、会議途中赤池まさあき参議院議員が来場され、来賓あいさつを述べ退席された。

【第1号議案 令和6年度事業報告（審議事項）】

事務局から会議開催状況、委員会活動等について報告。

【第2号議案 令和6年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

八文字典昭副会長・財務委員長から配布資料に基づき、収支計算書の各科目の詳細、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記等について説明。続いて坂本歩監事が全て適正との監査報告を行った。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。



【第3号議案 令和7年度事業計画案（審議事項）】

関口正雄常任理事・総務委員長が運動方針、重点目標について、事務局から会議開催日程、各委員会活動方針、広報活動の推進等について説明。

【第4号議案 令和7年度収支予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、各科目の詳細について説明を行った。

【第5号議案 令和7年度第1次補正予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、令和6年度の決算額確定を受けた、補正後の予算額について説明した。第3号議案、第4号議案、第5号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

以上により議長が全ての議事の終了を確認し、大村陽之介副会長が閉式の言葉を述べ、盛会のうちに全日程を終了した。

全国専門学校協会 令和7年度定例総会・理事会

6月19日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国専門学校協会令和7年度定例総会・理事会を開催。出席者は総会が183名、理事会が58名（いずれも委任状を含む）。赤池まさあき参議院議員が来賓あいさつを述べた。

後、公務により退席。続いて、大平康喜副会長の開式の言葉に続き、多忠貴会長があいさつを述べて、前日の全専各連総会等について報告。続いて、米原泰裕文部科学省専修学校教育振興室長が「学校教育法の改正に伴う主な制度改正事項について」「政府決定文書関係（骨太の方針）」「専攻科及び適格専攻科について」「専修学校の外部の識見を有する者による評価（第三者評価）のポイント」「高等教育の修学支援新制度の学業要件」等について配布資料に沿って行政報告を行った後、公務のため退席。その後、山谷えり子参議院議員が来賓あいさつを述べ退席。続いて、議長団の選出手続きに入り、常任理事会の推薦候補である前鼻英蔵理事を議長、市原康雄常任理事を副議長として選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に山本絵里子、鈴木啓之両常任理事を選任し、提出議案の審議に入った。

【第1号議案 令和6年度事業報告】

第1号議案については、事務局から会議開催状況、委員会活動等について報告。

【第2号議案 令和6年度決算報告ならびに監査報告】

第2号議案については、八文字典昭副会長・財務委員長から令和6年度収支における各科目の内容について説明。続いて戸早秀暢監事が全て適正との監査報告を行った。第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【第3号議案 令和7年度事業計画案】

第3号議案については、事務局から配布資料に基づき、運動方針、会議の開催、委員会活動方針、調査研究事業・研修事業の実施、広報活動の推進、専門学校におけるスポーツ振興について説明。

【第4号議案 令和7年度収支予算案】

第4号議案については、八文字副会長・財務委員長が予算編成方針及び各科目の内容を説明。第3号議案、第4号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

以上により議長が全ての議事の終了を確認し、平田眞一副会長が閉式の言葉を述べ、盛会のうちに全日程を終了した。

専修学校制度制定50周年を祝う

記念式典・祝賀会を盛大に開催

昭和50年7月11日、「学校教育法の一部を改正する法律」が成立・公布され専修学校制度が発足した。全専各連では、この7月11日を「職業教育の日」と定め、制度制定50年という節目を迎えた7月4日に「専修学校制度制定50周年記念式典・祝賀会」を東京・アルカディア市ヶ谷にて開催した。

当日は専修学校教育功労者表彰（文部科学大臣賞）受賞者を中心に、文部科学省、専修学校等振興議員連盟の国会議員等、関係者多数を来賓に招き、全国の会員校等の一般参加者を含め、式典約220名、祝賀会約320名が一堂に会した。

式典は、平田眞一専修学校制度制定50周年事業実施委員会委員長の開式の辞により午後1時に開式。多忠貴全専各連会長の式辞に続き、武部新文部科学副大臣や遠藤利明専修学校等振興議員連盟会長から祝辞を頂戴した。



数多くの来賓の出席を得て盛大に開催された記念式典
＝東京・アルカディア市ヶ谷（7月4日）

来賓紹介の後、専修学校教育功労者表彰（文部科学大臣賞）が行われ、受賞者を代表して浦山哲郎学校法人浦山学園理事長（富山県）に武部文部科学副大臣より賞状が授与され、浦山理事長から受賞の喜びと関係各位への謝辞が述べられました。その後、多会長から全専各連顕彰として小林光俊元会長、福田益和前会長に賞状の贈呈、専修学校教育の発展に貢献した方々に対する会長感謝状の贈呈、会長

〈専修学校制度制定50周年ロゴマーク〉



表彰受賞代表者への会長表彰授与が行われた。

今回 50 周年記念式典を挙行するにあたり、次代を担う専修学校の学生・生徒を対象に、「専修学校制度制定 50 周年記念ロゴマーク」のデザインを募集した。全国から、専門学校部門で約 520 作品、高等専修学校部門で約 50 作品の応募があり、それぞれの部門において最優秀賞が選出され、表彰された。

専修学校の質の保証・向上に関する 調査研究協力者会議

6 月 17 日、文部科学省「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」（第 35 回）が開催された。令和 8 年 4 月 1 日に施行が予定されている学校教育法の改正に伴う主な制度改正事項について整理された。専門課程（修了認定、自己点検評価及び外部評価、教職員の研修等）・特定専門課程に関する規定や専門士・高度専門士に関する改正について、また専攻科及び適格専攻科について改正省令が 7 月下旬に公布予定。

専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議（第 35 回）
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/027/shiryo/1402412_00019.htm

専修学校の専門課程における 「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」認定

文部科学省は令和 7 年 3 月 21 日付で「外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定」令和 6 年度認定結果を公表した。なお、令和 6 年度は全国で 224 校 599 学科が認定。（詳細はプラス WEB 参照）

高等教育の修学支援新制度 授業料等減免事務処理要領（概要）

文部科学省では高等教育の修学支援新制度を開始し、低所得世帯を対象として高等教育の無償化に取り組んでいます。令和 7 年度から多子世帯の学生等については、所得制限なく、大学等の授業料・入学金を国が定める一定額まで無償とすることとしています。また、令和 7 年度から新たな学業要件が適用されます。

文部科学省 H P 「高等教育の修学支援新制度」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/

私立学校法の一部改正

令和 7 年 4 月 1 日の改正私立学校法施行を受け、文部科学省ホームページには法改正の内容について説明動画及び資料、改正内容に係る Q & A 等を掲載しておりますのでご覧いただき、各学校法人の実情に即した対応をお願いいたします。

文部科学省 H P 「私立学校法改正について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiritsu/mext_00001.html

文部科学省人事異動

文部科学省において、4 月 1 日付で以下のとおり人事異動がありました。（ ）内は前任者。敬称略。

○専修学校教育振興室専門官 吉田 尊徳（望月 香里）

○専修学校教育振興室第一係長

石井 里奈（高田 祥伍）

○専修学校教育振興室第一係

北方 勝大、竹中 寿音（新保 綾音）

○専修学校教育振興室第二係長 貝原 剛（大塩 宏太）

○専修学校教育振興室第二係 中村 舞人（北方 勝大）

協会等代表者交代、新任ブロック長のお知らせ

◆都道府県協会等住所変更

○一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会

〒020-0024

盛岡市菜園 2-4-19-3 階（MCL 事業政策部内）

○和歌山県専修学校各種学校協会

〒640-8323

和歌山市太田 1-12-13（和歌山 YMCA 国際福祉専門学校内）

○一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会

〒700-0821

岡山市北区中山下 1-9-1 (山陽アルファ中山下ビル7階)

◆都道府県協会等代表者変更

青森県専修学校各種学校連合会

福井 武久 氏

一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会

君嶋 博明 氏

一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会

島田 勝彰 氏

一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会

山岸 建文 氏

◆新任ブロック長のお知らせ

北関東信越ブロック

八文字 典昭 氏 (茨城県・水戸経理専門学校)

心よりお祝い申し上げます
春の叙勲・褒章の受章者

令和7年度春の叙勲・褒章が次の方に贈られました。
長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

*黄綬褒章

莊司 礼子 (東京都: 国際文化理容美容専門学校 理事長・校長)



一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団

TCE財団だより

<https://www.sgec.or.jp>
J 検 <https://jken.sgec.or.jp/>B 検 <https://bken.sgec.or.jp/>

文部科学省後援 情報検定(J検)

○前期情報活用試験 (ペーパー方式・6月15日実施・団体出願)

出願団体数	12 団体
1 級	695 名
2 級	541 名
3 級	633 名
合計	1,869 名

○令和6年度 CBT 試験 (令和6年4月1日～令和7年3月31日・団体および個人出願)

総出願者数	11,993 名
情報活用試験	
1 級	590 名
2 級	2,152 名
3 級	5,132 名
合計	7,874 名
情報システム試験	
基本スキル	1,951 名

プログラミングスキル 832 名

システムデザインスキル 836 名

合計 3,619 名

情報デザイン試験

初級 410 名

上級 90 名

合計 500 名

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

○前期試験 (ペーパー方式・7月6日実施・団体出願)

出願団体数・出願者数 53 団体・6,162 名

2 級 出願者数 1,092 名

3 級 出願者数 5,070 名

○令和6年度 CBT 試験 (令和6年4月1日～令和7年3月31日、団体及び個人出願)

1 級 出願者数 65 名

2 級 出願者数 2,018 名

3 級 出願者数 6,097 名

合計 8,180 名

財団理事会・評議員会（6 月）

東京都・アルカディア市ヶ谷を会場（オンライン形式併用）として、6 月 11 日 TCE 財団第 153 回理事会、6 月 26 日第 101 回評議員会を開催した。

理事会は出席者 14 名、評議員会は出席者 11 名、理事会では中村徹理事長が議長に就任。議事録署名人は議長及び監事。評議員会では岩本仁評議員が議長、議事録署名人は古澤宰治評議員。

各議案の内容は以下の通り。全て異議なく原案どおり承認された。

【第 1 号議案 令和 6 年度事業報告】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。

【第 2 号議案 令和 6 年度決算報告ならびに監査報告】

配布資料に基づき、事務局が説明した後、岡部隆男財務担当副理事長が補足説明。監査報告について、理事会は竹内祐治監事が報告、評議員会は坂本歩監事が報告した。

【第 3 号議案 令和 7 年度第 1 次補正予算】

配布資料に基づき、理事会、評議員会ともに事務局が説明。

【第 4 号議案 評議員会の招集について（理事会のみの審議事項）】

配布資料に基づき、事務局が第 101 回評議員会の招集について説明。

【第 4 号議案 評議員の補欠について（評議員会のみの審議事項）】

配布資料に基づき、事務局が任期途中に伴う評議員の補欠に関する選任手続きについて説明。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

令和 7 年度 予定日程

<役員会・総会等>

○全専各連関連会議

●都道府県協会等代表者会議

令和 7 年 11 / 28（金）・東京都・アルカディア市ヶ谷

●全専各連第 142 回理事会・全専協理事会合同会議

令和 8 年 2 / 26（木）・東京都・アルカディア市ヶ谷

○TCE 財団役員会

●TCE 財団第 154 回理事会

令和 7 年 10 / 21（火）・オンライン

●TCE 財団第 155 回理事会・第 102 回評議員会合同会議

令和 8 年 3 / 17（火）・東京都・アルカディア市ヶ谷

<ブロック会議>

●四国ブロック会議

令和 7 年 8 / 1（金）・高知県・ザ クラウンパレス新阪急高知

●北関東信越ブロック会議

令和 7 年 8 / 21（木）・長野県・ホクト文化ホール

●中部ブロック会議

令和 7 年 8 / 22（金）・岐阜県・ホテルグランヴェール 岐山

●北海道ブロック会議

令和 7 年 9 / 2（火）～3（水）旭川市・旭川アートホテル

●東北ブロック会議

令和 7 年 9 / 19（金）・秋田県・秋田キャッスルホテル

●南関東ブロック会議

令和 7 年 10 / 24（金）・神奈川県・崎陽軒本店

<TCE 財団 検定試験>

●文部科学省後援・情報検定（J 検）

◇令和 7 年度前期試験

【情報システム】令和 7 年 9 / 14（日）

◇令和 7 年度後期試験

【情報活用試験】令和 7 年 12 / 21（日）

【情報システム】令和 8 年 2 / 8（日）

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T 方式のみで実施

●文部科学省後援・ビジネス能力検定（B 検）ジョブパス

◇令和7年度後期試験

【2級・3級】令和7年12／7（日）

◇CBT試験

【1級】令和7年9／6（土）～14（日）、令和8年2／7（土）～2／15（日）

【2級・3級】通年実施

<研修会・説明会>

●中堅教職員研修会

①「能動的学修」

令和7年7／31（木）～8／1（金）・東京都・アルカディア市ヶ谷

②「リスクマネジメント」

令和7年8／8（金）・オンライン

③「教育・指導力向上」

令和7年8／28（木）～29（金）・東京都・アルカディア市ヶ谷、10／20（月）・オンライン（フォローアップ）

●キャリア・サポーター養成講座

令和7年8／20（水）～22（金）・東京都・日本電子専門学校

<その他>

●第80回全国私立学校審議会連合会総会

令和7年10／16（木）～17（金）・静岡県・ホテルアソシア静岡

【広報全専各連 プラス WEB 掲載記事】

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】

→ プラス WEB よりご覧いただけます。

https://www.zensenkaku.gr.jp/koho/koho_info.html

◆令和7年度事務担当者会議 ◆全専各連・全専協常任理事会 ◆外国人留学生キャリア形成促進プログラム ◆全国高等専修学校協会定例総会 ◆全国専修学校一般課程各種学校定例総会、研修会 ◆個人立専修学校、各種学校に対する固定資産税（減免措置）の実現に向けて ◆職業実践専門課程の認定について ◆JASSO 留学生在籍調査について

「教育資金贈与」をご存知ですか？

祖父母・父母等から教育資金の贈与を受けた場合、1,500万円まで贈与税が非課税となる『教育資金の一括贈与に係る贈与税非課税措置』の適用期限が、2026（令和8）年3月31日まで延長されました。

取り扱いについては、金融機関へお問い合わせください。



会員校の皆様へ 入学辞退者への授業料返還

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記しているか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある 知専修学校 #知る専

令和3（2021）年にスタートした文部科学省がお届けするプロジェクト「専修学校 #知る専」。

「専修学校 #知る専」は、特設のポータルサイトやX（旧 Twitter）、YouTube、メルマガを結びつけて専門学校などの情報発信を強化するものです。

専門学校や学生などから投稿される動画や旬な情報が掲載される、専修学校と文部科学省とで作る「参加型」の新しい形の広報プロジェクトです。

文部科学省HP（<https://shirusen.mext.go.jp/>）、X、YouTube、Instagram から、今すぐ！検索！！





■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<https://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 7 年度後期

試験日 令和 7 年12月21日(日)

出願期間 電子願書——9 月 1 日～11月11日(願書必着日)

実施級/受験料 1級 —— 4,500円

2級 —— 4,000円

3級 —— 3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級 —— 4,000円

上級 —— 4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 7 年度後期

システムエンジニア認定

プログラマ認定

試験日 令和 8 年 2 月 8 日(日)

出願期間 電子願書——11月 1 日～令和 8 年 1 月 7 日(願書必着日)

実施級/受験料 基本スキル —— 3,500円

システムデザインスキル —— 3,000円

プログラミングスキル —— 3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

* パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT (Computer Based Testing) 方式でも実施いたします。

* 個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、可否結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。詳細はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<https://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加え、2級3級ではCBT方式を導入。
試験日時を自由に設定でき、分散した実施が可能です。(1級はCBT方式のみ)
(検定試験の最新情報は、B検ホームページをご確認ください)

1 級 (令和 7 年度前期)

■試験期間/令和 7 年 9 月 6 日 (土)～

9 月14日 (日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験: 7 月 7 日～

試験日の 2 週間前まで

/個人受験: 7 月 7 日～

試験日の 3 週間前まで

■実施級・受験料/1 級 (8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社 1 年目から 3 年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2 級・3 級 (令和 7 年度後期) [ペーパー方式]

■試験日/令和 7 年12月 7 日(日)

■出願期間/9 月 1 日～10月下旬

■実施級・受験料/2 級(4,200円)

3 級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人 1、2 年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校 3 年生、大学生・専門学校生等。●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 愛文科総第1713号
共済認可番号：27 愛文科総第1714号
共済認可番号：28 愛文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

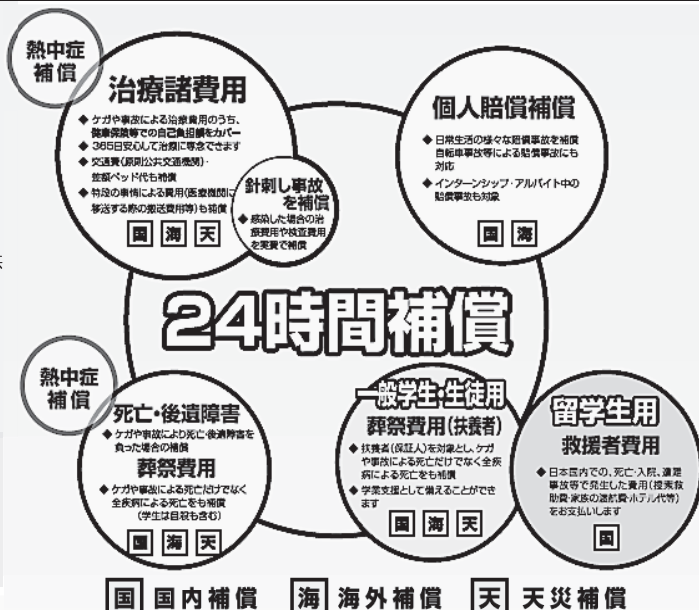
学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛け金で 手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円（100—499名）
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能

上記の基本プランの他、医療福祉分野プラン
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に
罹災したことによる治療費、検査/予防費を
補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 （全国専修学校各種学校総連合会/一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内）
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

お問い合わせ先

フリーダイヤル ☎ 0120-014-888

専修学校・各種学校の保険ご担当者様

私学法改正に対応

学生・生徒

授業や実習、インターンシップ等におけるケガや他人に対する賠償責任を補償します。

学校・教職員

学校に対する訴訟やサイバー攻撃など、多様化するリスクに備えられます。

理事・監事

第三者や学校法人からの、役員個人に対する訴訟に備えられます。



学校のリスクを補償
変化の激しい時代だからこそ
“もしも”に備え安定的な学校運営を！

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった、専修学校・各種学校のための保険です。

加入校は約**1,600**校 / 加入者は約**21**万人

《取扱代理店》 **株式会社 第一成和事務所** 東京都中央区日本橋馬喰町1-12-3 Daiwa日本橋馬喰町ビル3F

お問合せ先

TEL : 03-3669-2831

HP : <https://www.d-seiwa.co.jp/>

《引受保険会社（幹事）》

東京海上日動

三井住友海上

損害保険ジャパン

このチラシは一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の保険制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款により、ご不明な点がございましたら代理店までお問合せください。

25TC-001198 2025年6月